



ツククサ（露草）

夏の早朝、全国至る所でみられるツククサは、朝露を浮かべた青紫色がさわやかで、清楚な花です。

朝開いて、午後にはしぼんでしまうはかない花であるためこの名がついており、帽子花、螢草、青花などの別名があります。

また、古代から藍色の染料として使われていたため、衣に色がよく着くという意味の着草が転じ、月草という別名もあります。この染料は、水につけると消えてしまうという、花同様にはかない性質があり、それを利用して現在でも友禪染の下絵描きに使われているそうです。

ツククサは、子どものころ、花から色水を作って遊んだことを思い出す懐しい花ではないでしょうか。

「つき草の移ろひやすく思へかも

わが思ふ人の言も告げ来ぬ」

大伴坂上大嬢